

平成19年度事業報告

当事業団は、適正な廃棄物処理の促進を図るため、廃棄物による環境汚染の防止等の支援を行うとともに、公共関与による廃棄物処理センターとして廃棄物の受入れを推進し、関係法令等を遵守した適正な処理の実施と、廃棄物処理状況等の情報発信、啓発普及、環境学習の促進を図った。

I 産業廃棄物適正処理推進事業関係（一般会計）

県内の廃棄物の適正処理を促進するため、廃棄物による環境汚染の防止対策等に関する支援を実施した。

1 事業

(1) 最終処分場周辺施設整備助成事業

該当なし

(2) 環境調査等助成事業

取手市が実施した産業廃棄物最終処分場の周辺環境汚染の監視を目的とする地下水の水質分析調査に対して助成した。

○ 交付先 : 取手市

○ 交付額 : 100,000 円

○ 交付対象施設 : (有) フジランド産業廃棄物最終処分場

(3) 環境汚染対策等支援事業

該当なし

(4) 不法投棄撤去助成事業

該当なし

(5) 有効利用促進助成事業

該当なし

(6) 臨時的緊急対策事業

県内に放置されている有害廃棄物の撤去・処分を目的として、県が創設した「茨城県有害廃棄物等撤去基金」の造成に対し、出えん金を支出した。

○ 出えん額 : 1, 000, 000 円

2 理事会, 評議員会

	開催日・場所	会議議題等
理事会	平成19年5月14日(月) 書面表決	評議員の選任
	平成19年5月28日(月) 於: 市町村会館	事業報告, 収支決算
	平成20年2月28日(木) 書面表決	評議員の選任
	平成20年3月24日(月) 於: 市町村会館	事業計画, 収支予算
評議員会	平成19年5月28日(月) 於: 市町村会館	事業報告, 収支決算, 役員の選任
	平成20年3月24日(月) 於: 市町村会館	事業計画, 収支予算, 役員の選任

II エコフロンティアかさま廃棄物処理事業関係（エコフロンティアかさま特別会計）

公共関与の廃棄物処理施設「エコフロンティアかさま」を運営管理し、安全性の確保を最重点に一般廃棄物及び産業廃棄物の受入れを行い、熔融処理及び埋立処理を実施したほか、サーマルリサイクル及びマテリアルリサイクルを推進した。

また、環境保全委員会の提言を踏まえて環境モニタリングを実施したほか、排出ガスや放流水等の計測値を電光掲示板やホームページに掲示し、情報公開に努めた。

1 廃棄物処理事業

(1) 一般廃棄物処理事業

- ・ 笠間市（笠間地区内）から収集された生活系ごみを受入れるとともに、市民の持ち込みごみについては毎週土曜日及び年末の受入れを行った。
- ・ 最終処分場を持たない市町村及び一部事務組合から発生する燃え殻や不燃残さの受入れを行い、自治体が行うごみ処理を支援した。

(2) 産業廃棄物処理事業

① 熔融処理

廃プラスチックや木くず等の可燃物及びばいじん、感染性廃棄物、廃石綿などの有害な産業廃棄物を受入れ、熔融して無害化を図った。

② 埋立処理

がれき類や燃え殻等の産業廃棄物の埋立を行い、適正処理を進めるとともに、県内では受入れが困難となっている石綿管やスレートなどの非飛散性アスベストを含む廃棄物の受入れを行った。

(3) 平成19年度の廃棄物処理量

（単位：t）

	一般廃棄物		産業廃棄物		合計	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
熔融処理	13,000	12,489	27,300	25,563	40,300	38,052
埋立処理	9,000	7,832	80,000	104,761	89,000	112,593
合計	22,000	(▲1,679) 20,321	107,300	(23,024) 130,324	129,300	(21,345) 150,645

※（ ）内の数字は増減量（実績量－計画量）

(4) リサイクル・有効利用の実施

熔融後に発生する発生するスラグは、最終処分場内で保護材として有効利用し、メタルは金属材料として売却した。

また、熔融処理の際に発生する高温の排ガスを利用して高効率発電を行い、余剰電力を売電した。

2 廃棄物処理施設運営管理事業

(1) 溶融処理施設、最終処分場及び浸出水処理施設の適正な管理運営を図った。

なお、施設の運転管理をJFE環境サービス(株)に委託した。

(2) 施設運営に伴う生活環境への影響を把握するため、周辺環境モニタリング調査、現況保全地における動植物調査等を実施するとともに、環境保全委員会等を開催し、良好な環境保全並びに施設等の安全性の確保を図った。

○ 周辺環境モニタリング調査

大気調査 : 周辺大気(年4回)、連続監視(2箇所)

騒音・振動調査 : 交通、環境(年4回)、施設騒音・振動(年1回)

水質調査 : モニタリング井戸(水道水質基準等:年12回)、河川水質等(環境基準値等:年4回)

他に悪臭調査、底質調査、土壌調査を実施した。

○ 現況保全地における動植物調査

オゼイトトンボ、ハッチョウトンボ、シラン等の調査を実施し、一層の保全を図った。

(3) 環境保全委員会の開催

環境保全委員会を開催し、環境モニタリング結果等の分析評価を行ったほか、現況保全地ワーキンググループを開催し、現況保全地の保全対策などを検討した。

○ 環境保全委員会 : 平成20年3月30日(日)開催

3 啓発普及事業

エコフロンティアかさまの施設運営推進等に資するため、地域住民向けに啓発普及事業を実施するとともに、排出事業者、視察者などに対しても運営状況等を説明し、廃棄物の適正処理施設としての啓発普及活動を実施した。

さらに、管理棟2階の環境学習施設(展示コーナー)では、常時見学を受入れ、環境学習全般の啓発普及に努めた。

○見学者実績 : 124団体2,337名

4 地元相談・調査事業

エコフロンティアかさまの地元住民への理解を深めるため、笠間市等とともに相談・指導及び先進地視察等の事業を実施した。

○事業委託等先 : 笠間市等

5 地域振興等事業

福田地区の地域振興を目的とする地域振興交付金を笠間市に交付し、福田地区の合併処理浄化槽設置工事費補助などの事業を実施した。

○合併処理浄化槽設置工事費補助 5人槽 … 1基
6～7人槽 … 4基

○防犯電気料補助灯 9基分

6 情報公開

排ガス、放流水等の計測値を表示板（電光掲示板）に掲示し、住民への情報公開に努めるとともに、ホームページに処理状況等を掲載し、広く情報公開を図った。

7 訴訟対応

平成16年11月1日に提訴された廃棄物最終処分場等建設差止請求事件（平成16年（ワ）第572号）については、平成18年度に引き続き、片桐章典弁護士ほか5名の弁護士に訴訟代理人を委任するとともに、請求事件の技術的な部分に対応するため、パシフィックコンサルタンツ（株）に訴訟対応業務を委託した。